
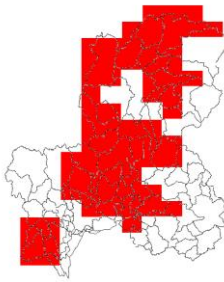


ナガホノツノハナワラビ	<i>Botrychium strictum</i> Underw.	準絶滅危惧
		ハナヤスリ科
選定理由	分布域の多くが人の生活領域に含まれているため、環境の変化による種の存続への圧迫にさらされている。	写真(村長昭義) 
形態の特徴	夏緑性のシダ。栄養葉は無柄、3-4回羽状に細裂する。裂片の基部は羽軸に流れない。孢子葉は葉身の基部から穂状に出る。	
生態的特徴	山地の林下に生育する。	
分布状況	北海道から九州に分布する。岐阜県では県全域に分布する。	
減少要因	山林の開発による生育地の消失、山林の放置による荒廃で生育環境が大きく変化している。	
保全対策	生育地の開発防止と保全、山林の整備や除伐など生育環境を維持する活動。	
特記事項		
参考文献		

文責:村瀬正成